

訪問看護に活かす対話の工夫

～明日からの関わりが変わるコミュニケーションの視点～

■ 講師：小瀬古伸幸

トキノ株式会社 訪問看護ステーションみのりに在籍 副社長・広報戦略担当
家族支援や対話を大切にした精神科訪問看護の実践・教育・講演活動に取り組み、全国各地で研修や講演を行われています。著書に『精神疾患をもつ人を、病院でない所で支援するときにまず読む本』『しくじりから学ぶ精神科訪問看護計画書』など多数の書籍があります。

■ 「説明しても伝わらない」「関わり方を変えてもうまくいかない」「精神疾患のある方との対話に不安を感じる」 そんな悩みはありませんか。対話がうまくいくかどうかは、言い方のテクニックだけでなく、関係性や状況の中でどう関わるかによって変わります。本研修では、訪問看護の現場で起こりやすい場面をもとに、相手に伝わる関わり方の工夫と考え方を整理します。

■ 対象：看護師・保健師・助産師・精神保健福祉士・社会福祉士・リハビリ専門職
相談支援専門員・介護支援専門員・相談支援に関わる方・本テーマに関心のある方



日時：令和8年10月3日（土曜日）

13時30分～16時30分

※13時～受付開始



会場：山口県看護協会研修会館 3階大会議室

〒747-0062 山口県防府市上右田2686

申し込み先：右のQRコードよりお申し込みください

受講料：山口県訪問看護ステーション協議会会員 1000円

その他の方 3000円

（※当日会場でのお支払いになります）

申込締め切り：9月18日（金曜日）

定員：100名（※定員になり次第締め切ります）



お問い合わせ：原田訪問看護センター 0835-25-4774 （平日9:00～16:00）

主催：山口県訪問看護ステーション協議会
後援：公益社団法人 山口県看護協会